

前期教養講座

まち協では文化教養委員会が主催する今年度前期の教養講座を次の通り開催します。みなさんの参加をお待ちしています。

チェアエクササイズ

椅子に座って行うリズムカルな運動です。「生涯健康、生涯現役」を応援するエクササイズです。椅子が支えてくれるので、立位では動かしづらい骨格筋肉まで動かすことができます。同時にうた体操と手話体操もプログラムに入っています。

日時：6月11日(木)、18日(木)、25日(木)、
7月2日(木)の4回 時間はいずれも午後7時30分～

講師：大溝 育代 氏

定員：20名

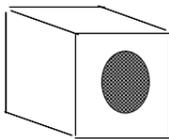
ダンホンをたたこう

「ダンホン」とはダンボールで作ったカホン(箱型の木製打楽器)のことです。手軽にたたける楽器なので、老若男女を問わず演奏して楽しめます。ストレス発散にはもってこいです。

日時：6月16日(火)、23日(火)の2回
時間はいずれも午後7時30分～

講師：加藤 英和 氏

定員：15名



グラスアート教室

ステンドグラスの雰囲気そのままに、より簡単に短時間で安全に作品をつくれます。素材となる板などに特殊なカラーフィルムを貼って製作します。

日時：7月8日(水)、15日(水)
時間はいずれも午後7時30分～

定員：10名

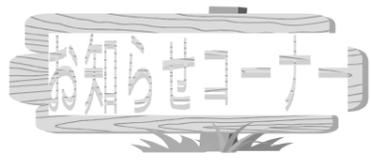
講師：坂下恵美氏

なお、材料費として1,000円必要です。

以上の会場はすべて一之宮公民館です。参加費は無料です。

申込み方法：電話が直接公民館まで来館して申し込んでください。電話：53-2424(公民館内まち協事務局)

締切：5月30日(土)ただし、定員に達し次第締め切ります。以上のほかにワイン講座等を予定しています。詳細は後日ご案内します。



手づくり絵本巡回展

日時：5月29日(金)、30日(土)、31日(日)
午前9時30分～午後5時

会場：一之宮公民館

会場では一之宮地区の8人の作品12点も展示されます。

通勤時間帯の青信号が長くなりました！

一之宮交差点の朝夕の通勤時間帯に主要地方道側から国道へ進入する場合の青信号時間が若干長く設定されました。

できるだけ信号交差点を利用して安全運転に心掛けてください。



畑の準備に余念のない山腰さん

林さんは、近くの畑で野菜作りをはじめ、こまめに農業に精を出してみえます。軽トラックを乗りこなし、訪問した日には、庭木を植えてみえました。

料理は、大変おもしろく、その時の腕前、苦勞が活きていることがわかりました。

今、楽しみにしていることは、月2回、みなさんが集まって、集会所「いこい」でストレッチ体操や折り紙、時には食事をすることだそうです。健康の秘訣を聞くと、何でもよく食べることに言われましたが、まめに動いてみるからだな、とも思いました。

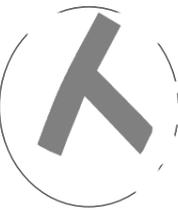
(広報委員：山腰)



今年度から新シリーズとして、地域で活躍してみえる人、いわゆる「まちよな人」へのインタビューコーナーを設けました。

「まちよな」とは、飛騨弁ですが、熱心、達者、器用な人といった意味があります。

今回は、山下上組の林英子さん(77歳)をご紹介します。



まめに野菜作りや料理

林 英子さん
(山腰)

料理も得意で、近所や知り合いに、手づくりの惣菜など作ってあげてみえます。また、近くの通学路の雑草も取ってきれいにしていたり、など、じつとしていろいろな「まちよな人」です。

昔、スキー場ができてから30年ほど、民宿久三郎をやってみえました。当時はスキー客や祭の見物客など貸切バスが入り忙しかったそうです。

「昔はえらかった、今は楽になったなあ」と言われました。

農業では、数年前までは6反もある田んぼで、機械ではなく鎌で畔草を刈っていたそうです。いただいた料理は、大変おもしろく、その時の腕前、苦勞が活きていることがわかりました。



闘鶏楽で有終の美を

水無神社例祭に向けて、「闘鶏楽」の当番である中央地区と、小学校高学年と中学生男子が鉦打ちの練習を数回にわたり公民館や宮小グラウンドで行いました。

子どもは学校とは違う緊張感の中、大人の息の合った鉦に合わせて真剣に鉦をたたき姿が見られ、4月の肌寒い夜気の中、公民館ホールは熱気で汗ばむほどでした。

当番頭である坂本準一さん、坂本一幸さん、南喜代さんは「今年は中央地区の闘鶏楽3年間の当番最終年度で、盛り上げて有終の美を飾ります。試楽祭と本楽祭は誘い合わせの上見に来てください」と意気込みを話していました。

5月2日に祭りは終わりましたが、当番である中央地区のみなさん、この3年間ご苦勞様でした。(広報委員：野添)



祭りの練習に励む子ども達

銀河鉄道を発見した夜！子ども達に感動の積み重ねを



武川 尚 さん(一之宮支所長)



新しい連載が始まるにあたって、トップバッターに指名されました。この連載がどのようになっていくのか、責任を感じながらも「まち協だより」に掲載されることを多少意識して、私なりの「まちづくり協議会」の活動の意義について語ってみたいと思います。

他の地域ではあまり見られない景色があります。ぜひゆっくり見せてほしいものです。ただ、たまにはお手伝いしたい庭もありますが、よく聞くと空き家(高山でも5軒に1軒が空き家です)だったりします。

二つ目ですが、これは偶然発見したのです。その場所は、公民館の裏の駐車場です。時間は夜の8時過ぎ、宮峠の方角を見ていると突然光が輝いたと思うと、小さな光の列が連なって出てきます。

すぐに高山線のワイドビューだと分かりましたが、漆黒の夜空の中から列車が下りてきて近くを通り過ぎるまで、「宮沢賢治の銀河鉄道の夜」の実写映像を見たような気分になりました。誰かに話さずにはいられないほど感動しました。

私なりの結論ですが、子ども達に地域を愛する心を育み、誇りを持たせるのは感動の積み重ねではないでしょうか。ぜひ、私の知らない素敵な一之宮をこっそり教えてください。

何のために。今を生きる住民の方々が安心して暮らせる「まちづくり」のためというのは、もちろんのことですが、もっと大切なことは、この一之宮に生まれ育つ子ども達に誇りをもってもらえる「ふるさと」をどんな姿で受け継ぐことができるかだと思います。

私が一之宮に勤めさせてもらって感動することの一つが、庭の手入れの素晴らしさです。庭木の剪定など

図書館だより

春の陽気に誘われてお散歩したくなりますね。そんな時はぜひ図書館にもお立ち寄りください。

お知らせ

高山市図書館所蔵の雑誌のタイトル数が増えました。

一之宮分館では4月から出版情報誌「ダ・ヴィンチ」と女性総合誌「CHANTO」が新たに増えました。

高山市図書館所蔵の雑誌は雑誌一覧でご確認いただけます。

今月の特集

犬と楽しく暮らすためには、今月の特集では、犬と人との関わりについての本を集めました。犬の飼い方やしつけ、犬が登場するおはなしなど、ぜひご覧ください。



おはなし会のご案内

5月16日(土)午前10時30分、スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び
申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

一之宮町の人口情勢

世帯数	817戸		
年齢	男性	女性	合計
0～14歳	195	162	357
15～64歳	713	740	1,453
65歳以上	333	457	790
合計	1,241	1,359	2,600

4月1日現在・単位：人 3

編集後記

寒さが残り雨の多い4月でしたが、桜も時期を忘れず例年のようにきれいに咲きました。皆さんお元気でお過ごしでしょうか。先日、祭りを前に、長寿会の方々がお旅山を掃除してみました。たまたま通り過ぎてしまったのですが、写真を撮ってまち協だよりに載せると良かったと悔やまれました。皆さんぜひいろいろな活動を紹介ください。

皆さんの声をお聞かせ願います。

つばやき

新年度を迎え、新しい制服を着たりカバンをもったりした小中学生の元気な姿が見られます。「頑張る」と声援を送りたくくなります。ところで、農作業で、天気が気になる4月でした。連休は行楽が気になる人も多いでしょう。私ではなかった農作業と雑草取りが予定に入っています。(草取りじい)

公民館から(5月15日以降)
展示コーナー
臥龍桜日本画大賞所蔵作品展 (5月末まで)
5月の公民館定休日
25日(月)
5月の位山交流館定休日
18日(月)、25日(月)

臥龍公園に「カンカコカン」



26日には中学生が闘鶏楽の舞いを披露。日ごろの練習の成果が表れました。

満開の臥龍桜が咲く臥龍公園で、「桜まつり」が4月25日と26日の1日に1万人を超す人で賑わいま

多くの観光客らで桜まつり大盛況

一之宮まち協だより

第12号

平成27年5月15日

一之宮町
まちづくり協議会
広報委員会

高山市一之宮町3087
電話 53-2424

「桜まつり」は、あやめ会の大正琴の演奏や飛騨高山高校の太鼓演奏などのほか、飛騨一宮水無神社の神代踊りや闘鶏楽といった伝統芸能も披露されました。今年のは好天に恵まれ、児童生徒や宮小中学校教職員のみならずも活動に加わりました。集まったリサイクル品の量は、宮小中学校PTA合同の資源リサイクル活動が4月18日の土曜日に一之宮町全域で行われました。両校PTA役員と子ども会育成委員を中心に、家庭から出されたリサイクル品を、一之宮支所駐車場で回収業者のトラックに積み込みました。この日は好天に恵まれ、児童生徒や宮小中学校教職員のみならずも活動に加わりました。集まったリサイクル品の量は、



連日たくさんの方が訪れた

宮景

御旅山とツツジ

4月下旬から5月上旬にかけて、一之宮では臥龍桜のほかにも開花する花木があります。コバノミツバツツジというツツジの木です。

高山市の花にも指定されているこの木(花)は、水無神社の例祭の頃に、この花の群生地である御旅山で咲き誇り、山は薄紫色に彩られます。

今年も5月の2日の御神幸で御旅山へ向かう神様や行列の氏子衆、またたくさんの方の住民のみなさんが目にしたことでしょう。

祭りを前に長寿会では毎年御旅山掃除をされますので、なおのこと、この花の美しさが際立ったことと思います。

4月下旬が開花のピークで、5月になると花も少なくなり、下では田植えが始まります。



御旅山は鈍行がよく似合う？ ツツジのバックも一役。

高山線の「鈍行」列車から見える時期はほんの一時期。御旅山は、祭りも終わるとひっそりと花期を終え、次第に緑萌える山に変わっていきます

春の環境整備実施

4月5日の第1日曜日に春の町内一斉の環境整備が行われました。今年の作業は、昨年の豪雨や冬の積雪の影響で例年になく大変な作業となりました。



餅まきのころは雨も止みました



山下会長から目録を受け取る伊井君

少年野球にヘルメット寄贈 一之宮町の少年野球チーム「一之宮クラブ」に「あじめ会」から打者着用ヘルメット8個と捕手用ヘルメット1個が贈られました。贈呈式は4月11日に宮小学校グ

地区によつては、幹線用水路の周りに張りめぐらされた格子鉄線は倒木によつて曲がり、用水には土砂が多く入つていたり、また、公園の折れた松を伐採したりするなど、多くの作業がありました。この日の町民のボランティアにより、環境整備・整美がなされ、美しい元の一之宮になりました。



用水の土砂を取り除く地区の人



集まったリサイクル品を積込む参加者

PTAが資源リサイクル ラウンドで行われ、あじめ会の山下廣治会長から一之宮クラブの今井悠キヤブテンに手渡されました。あじめ会は地域貢献等を目的に一之宮町の企業主等で構成されている組織で、今回の寄贈は、スポーツを通じた児童の健全育成の一環として行われました。一之宮クラブは宮小2年生から6年生までの36人の野球チーム。今井キヤブテンは、「大切に使用させていただきます。頑張つて良い成績につなげます」と話していました。

晴天の中、例祭巡行勇壮に

5月2日に水無神社の例祭が行われました。天候にも恵まれ、小学5・6年生と中学生の参加する闘鶏楽をはじめ神代踊・獅子舞が奉納されました。また、鐘や太鼓



展示作品を鑑賞する来場者

今年臥龍桜の開花期に合わせて開催され、今年は17日の桜の開花頃から桜見物と合わせて来場する人が増え、中にはバスの団体も訪れるという場面もあり、多くの人々が鑑賞していました。

臥龍桜日本画大賞展が、今年から「生きびな・桜まつり実行委員会」が主催して4月14日から5月6日まで、飛騨位山文化交流館で開催されました。今回は「桜と花」をテーマに、これまでの受賞作品や歴代審査員の伊藤嘉晃先生らの作品など32点を展示しました。



神輿を担ぐ出役役者の人達

中学スキー部強化指定

宮中アルペンスキー部が昨年1月の大会で総合優勝したことから、同部が県から強化指定の指定を受けました。指定を受けたことにより、27年度の活動に対して交付金が支給されます。

飛騨地区でスキー競技関係の指定強化を受けるのは宮中のほか古川中と朝日中の3校。宮中のスキー部員は19名、これを契機にさらに上位目指して頑張ってください。